

平成28年度 議会改革検討会 行政視察報告書

1 調査期間

平成29年1月25日（水）～1月26日（木）

2 視察都市及び視察事項

期 日	視察都市	視察事項
1月25日（水）	埼玉県所沢市	議会改革について
1月26日（木）	青森県八戸市	タブレット端末の活用について

3 視察者

塚本 昌紀（座長）・土屋 俊則・北橋 節男・大矢 徹・西 智
脇 礼子・堺 英明・友田 宗也・阿部すみえ・宮戸 光

4 視察事項の概要

【埼玉県所沢市】

- ① 人口及び面積 343,337人 72.11km²
- ② 平成28年度一般会計予算 98,950,000千円
- ③ 視察事項の事業概要

（1）主な議会改革の取組について

所沢市議会では平成21年3月に制定した議会基本条例に基づき議会改革を進めているが、主な取組としては条例制定以前から取り組んでいた地方自治法100条2項に基づく専門的知見の活用、基本条例制定後の議会事業評価・議会改革評価の実施、議会基本条例の改定、議員間の自由討議を基本とする政策討論会、ワールドカフェスタイルによる市民との懇談会、マスコットキャラクターの作成等が挙げられる。

1. パートナーシップ協定の締結

専門的知見の活用として県内埼玉大学に次いで2例目となる市内にキャンパスのある早稲田大学とパートナーシップ協定を平成28年2月に締結し政策立案機能の強化を図っている。

更には「政策研究審議会条例」を同年4月に施行し、議会基本条例第24条にある附属機関の設置規定に基づき、議会が諮問する常設型として、学識者市民4名で構成される政策研究審議会を設置している。

初年度は①大学生等の消防団への入団促進策、②議会評価・ICT化推進、③選挙年齢引き下げに伴う大学生による教育プログラム構築の3点を諮問し、審査後答申・提言等を受け所管委員会で審査している。

2. 議会評価

平成 25 年 4 月に議会評価実施要項を定め、議会運営委員会が所管する事業と広聴広報委員会が所管する事業を「拡充」「継続」「改善」「縮小」「終了」「休止」「廃止」の 7 段階で自己評価する事業評価と、基本条例に規定する項目や議会改革の取組状況を自己評価する議会改革評価を実施し、報告書を作成公表している。

3. 議会基本条例の改定

制定から 6 年が経過した平成 27 年、議会運営における環境の変化や時代に即した条文の見直し等の必要性から議会基本条例改定に関する特別委員会を設置し、先進事例を視察、専門的知見の活用として法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏に調査依頼し、その調査に関する報告会を市民向けに開催している。

審議期間は 1 年と定め一条一項毎に協議し、決定は全会一致を基本とし、延べ 11 回の審査を行い、旧条例 11 章 27 条から 13 章 31 条に改定している。

4. 政策討論会

議会基本条例第 13 条に議員は積極的に議員間相互間の自由討議に努め、議論を尽くしていかなければならないとし、常任委員会や特別委員会の審査に於いて、委員からの動議を受けて委員長が委員に諮り実施、過去の経緯をベテランの議員に尋ねるなど活発な自由討議を展開している。

また同第 14 条には政策立案及び政策提言を推進するため、積極的に政策討論会を開催するものとし、要綱に於いて最低年 1 回以上、議員 12 人以内の構成で開催している。

5. 市議会広聴広報マスコットキャラクター「みみ丸」

平成 27 年 11 月に市議会開催 65 周年を記念して、広聴広報マスコットキャラクターを作成、議員数の 33 から「みみ丸」と命名した。

昨年 5 月藤沢市で開催されたワールドカフェ方式での議会報告会「カフェトークふじさわ」を傍聴された所沢市議会議員の発案により、同年 7 月「所沢市の魅力や自慢できるものは何ですか？」をテーマにワールドカフェスタイルによる議員と市民の懇談会である「みみ丸カフェ 2016」を開催している。

市民への声かけは無作為抽出で選出し、早稲田大学の学生を合わせ総勢 54 人で話し合い、約 250 の意見が抽出され、今後どの様に生かしていくか広聴広報委員会で検討中である。

【所感】

県内の大学との連携を早くから行うなど、議会改革を進める上で第三者の意見を多く取り入れ、議会基本条例の改定には約一年をかけ、改選後の新人議員にも配慮し、勉強会を兼ねて一条ずつ審議している所は、非常に丁寧さを感じる。

また、本市で行ったカフェトークふじさわを視察された後速やかに、加えて無作為抽出による市民への声かけを行うなどアレンジして実施をしており、大変感銘を受けた所である。

更には議会評価を実施し、自己評価ではあるが客観的に改革の進捗を管理している所は他市に見られない特徴的な点である。

本市では実施していない取組もあり、学ぶ点も多く、充実した視察となった。

また、事務局職員が説明するのでは無く、議員自ら説明を頂き、議会改革に取り組む情熱も伝わって来た所である。

所沢市議会議長、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長、議会事務局の方々には多忙な中ご対応頂き感謝を申し上げる次第である。

【青森県八戸市】

① 人口及び面積 236,401人 305.54km²

② 平成28年度一般会計予算 96,100,000千円

③ 視察事項の事業概要

(1) タブレット端末の導入について

平成25年8月、議会改革検討委員会に於いてタブレット端末導入について提案があり協議事項となる。

その後業者によるデモンストレーションを実施し、翌年11月議会改革検討委員会にて導入を決定し議長に答申、その翌月、議員全員協議会に於いて導入を決定した。

平成27年8月にペーパーレス会議システム公募型プロポザールを実施し、同年9月1日から運用開始した。

導入台数は議員用が35台(議員32台、事務局3台)機種はiPad Air2 Wi-Fi + Cellular モデル16GB データ通信料2GB、事務局用として7台 iPad Air2 Wi-Fi モデル16GB、システムは moreNOTE (富士ソフト株式会社) となっている。

(2) 費用について

1. 議員用端末 1,962,212円 (1台当たり約56,000円) 初年度通信運搬費として計上
2. 新規手数料 113,400円
3. 月額使用料 5,942円 1/2は政務活動費で負担
4. 事務局端末 306,180円 (1台当たり約44,000円) 備品購入費として計上
5. タブレット用カバー 117,180円 (42台分)

(3) 導入の効果について

1. 紙使用量の削減

各種委員会、協議会、交渉会等の会議に於いて現在ペーパーレス化を実施し、会議録冊子の議員への配布も中止した。

平成27年9月から平成28年5月迄の8ヶ月間で約30,000枚削減出来たとしている。

2. その他の効果

会議開催通知や連絡事項等の事務に於いて経費節減と事務量の軽減が図られ、迅速な情報伝達が可能になった。

また視察先や外出先での使用が可能となり議員の政務活動の充実を挙げている。

(4) 課題について

1. 開始時

不慣れな議員に対する、タブレット端末操作方法の習熟。

議場や委員会室での無線LANの整備や、議員席へのコンセント設置等の環境整備の必要性を挙げている。

2. 運用後

ペーパーレス化対象会議や対象資料の拡大、タブレット機能やアプリケーションソフトの有効利用。

契約通信料(2GB)をオーバーした場合の通信速度低下に対する対応、会派控え室等アクセスポイントの拡大等を挙げている。

【所感】

当初執行部側が検討している中、議会と両者で導入を検討する事となり、統一したシステムという観点と、先に執行部が検討していたシステムという事、価格面から現在のシステム(moreNOTE)になっている。

可能な物は全てペーパーレス化としているが、要望があればペーパーでも資料提供しているとの事で、柔軟な対応が見られる。

またタブレット用カバーも購入しており、付属品の必要性も感じた所である。

本市議会も来年度からタブレット端末を導入する事が決定しており、事務手続きや費用負担のあり方等参考になる有意義な視察となった。

八戸市議会、事務局関係者に感謝を申し上げる次第である。